京城日報
(年中無休刊)

十一月廿六日夕刊（例夕刊併せて八頁）

條約議定書

二十五日外務省發表

外務省は廿五日同盟及び聯合國と獨逸との講和條約並に議定書附和蘭國に關する條約全文（附圖一號乃至四號添付）を發表したるが目次左の如し（東京電報延著）

前文　第一編聯盟規約、第二編獨逸國の境界、第三編歐州政治條項、第四編獨逸國外に於ける獨逸國の權利及び利益、第五編陸軍海軍及び航空條項、第六編俘虜及び墳墓、第七編制裁、第八編賠償、第九編財政條項、第十編經濟問題、第十一編航空、第十二編港、水路及び鐵道、第十三編勞働、第十四編保障、第十五編雜則、末文（以上總頁約四百頁）

條約公文發表期

詔書煥發されん

講和條約公文は十二月一日發表せらるべく其際詔書の煥發を見るべしと（東京電報）

條約實施と通告

最高會議獨逸委員に對し

講和最高會議は獨逸委員に對し左の如く通告せり（巴里電報）

講和條約は一月一日より實施せらるべし從つて議定書の調製は同期日迄に行はざるべからず

聯國會議と露問題

英國下院にてロイドジョージ氏は演說し聯合國會議は多分倫敦にて開會され露國問題を附議すべしと（倫敦電報）

土耳其條約協議

土耳其の講和條約は來年二月新會議を開き協議すべしと（巴里電報）

講和會議終了期

講和會議は公式に十二月四日を以て終了すべく米國委員は二週間以內に歸國の途に就くべし（巴里電報）

寬城子公文交換

北京奉天東京にて同時に發表

寬城子事件は去る十九日を以て一切の交涉を了し日支兩國當局間に公文書の交換を爲すことゝなりたるを以て近く北京奉天東京の三箇所に於て同時に發表せらるべし（奉天電報）

嵯峨福州入港

領事艦長排日取締要求

軍艦嵯峨は二十五日馬港より福州に入港領事及び居留民の出迎ひを受け艦長波川少佐以下三名小蒸汽にて日本領事館にて協議の上領事は艦長と共に支那外交部員を訪問し排日取締に就き嚴重に要求する所ありたり（福州電報）

米支借款協議

五百萬磅前渡借欵と日本

曩に米國資本家と協定せる三千萬元借款に關し目下周自齊氏と米國側との間に交涉にて秘密裡に協議進行中なるが右は近く成立すべし又目下英米佛資本家と支那政府との間に五百萬磅の前渡借欵に就き協議中なるが若し日本にして加入せば之れを新銀行團の借欵に計算す可しと（北京電報）英米佛資本家と支那政府との間に交涉中なりと傳へらる、五

陸軍大將に陞進せし　宇都宮軍司令官

百萬磅前渡借欵に就き日本は勸誘を受け居らず右に就き正金北京駐在員は此の借欵交涉說は疑はしと云ひ居れり（北京電報）

朝鮮統治と接見會

政務總監の諸名士招待

水野政務總監は二十五日午後三時より朝鮮統治に就き了解を求むる爲め帝國ホテルに接見會を催したり之より先き外人宣敎師及び朝鮮に緣故を有し平素朝鮮の爲め盡力せる名士夫人等二百餘名參集水野總監はフロックコート夫人は紋附にて來賓を迎ふ聽て阪谷男は司會者として起立し來賓の臨席を感謝し水野總監の演說を促せば總監は流暢なる英語演說を試み次いで阪谷男は「余の記憶するところに據れば水野博士が今日の如き英語演說を試みたるは博士として空前の事なり吾人は博士の熟誠に對して其成功を祈る」と述べ次いでベリー博士は……ある演說を爲したるが其の中に「宣敎師は敢て忌憚なき批評を試む可し」とあり……阪谷男は三度起ちて……

附記　故大延壽の爲め同日東京より……榊上の演說……に就き……

西伯利派遣軍問題協議

二十五日の定例閣議は……より內閣會議室に於て……外相より最近外交上の……派遣軍……に就き協議……上午後二時散會したり

一年志願兵條例

二十五日附官報にて一年志願兵條例及同施行細則發表さ……右は入營期を四月とし……とし同一待遇とし……

海軍三大將待命

二十五日左の通り發表あり

海軍大將	吉松茂太郎
同	藤井較一
同	八代六郎

軍事參議官　鬼本職待命被仰付

大將の榮冠を戴きて

けさ宇都宮軍司令官歸城す

龍山驛頭祝賀の雨　有難うと一揖して官邸へ

大將の平生

嚴寒中冷水浴

春風春水一時に到

一身に集る

山桐の下駄

宅に男四人

財界不安と銀行の責務

自分等で銀行

親切なる態度に

中山侯薨去

宮中顧問官從二位勳一等侯爵中山孝麿氏は二十五日薨去せられたり（東京電報）

日銀帳尻

二十四日の現在左の如し（東京電報）

發行高	一、一二六、五九七千圓
正貨準備	八一六、九七四
保證發行	一九一、六二三
貸出高	三八六、〇〇九

辭令（二十五日附）

任總督府事務官（七等）　總督府財務局勤務を命す　美座流石

任釜山稅關監視官兼事務官（七等）　岡山縣屬稅務監督局屬　吉田　晋男

任總督府試補　總督府財務局勤務を命す　佐々木忠左衛門

任總督府遞信技師（七等）　鐵道院技師　稻崎磯右衛門

朝鮮各地の銀行計畫（上）

殖銀頭取　三島太郎

日下東京附近に銀行中の三島殖銀頭取は近來朝鮮に流行して居る銀行……

假令大戰は終結して世界の平和は克復しても財界は種々の關係……

東拓貢收納

東拓に於ける煙草在來種は江原道內及び慶州方面は既に收納に着手したるが漸次その他の地方に及ぼすべく土耳其種の收納は未着手なるも收穫少きため在來種と前後して收納を完了すべく全部の結了は本年內には覺束なからんと

運送取扱人總會

十二月三日京城に於て京管局認可貨物運送取扱人組合創立總會開催の由なるが地方よりの參會者に對し乘車賃金二三等五割引を爲すべしと

救濟の途を講じて

東條大佐榮轉

村田少將發程

柴田局長出張

陸軍電報

電報欄外に揭載

二十五日夜師團長に補せられたる旨記せしは軍事參議官に任ぜられたる誤りに付訂正す

財界閑話

二十五日夜鮮銀の幹部連は花月に十周年祝賀會を開き正副總裁重役……大田部事務理事を招待したる……二時近くに及んだが……

其の日その日

◇戰爭を起こした一大罪惡……

◇佛國が獨逸の復興を恐れ、米國に獅嚙付かんとするは……

◇先づ最高會議は各國の步調亂れ米國の誤多々にて……

溫故知新の二快著

閑堂上村觀光著（最新刊）　禪林文藝史譚

幽玄なる我が禪宗史の譚叢一度著者の健筆に移て興趣盡くる所を知らず取材頗る豐富以て……

文學士長沼賢海著（最新刊）　日本の文明と佛教

佛教を容れて一千五百年其光輝……此一卷は實に著者畢生の文獻……

大鐙閣

蓄電池電燈の利益

▲油ランプより遙に經濟なり
▲火災其の他の危險なし
▲移動自由にして最も輕便なり

大阪蓄電池株式會社

營業科目　特許各種蓄電池　家庭用室內電燈　手提電燈　特許回轉式集魚燈　寄氣捕蛾燈

代理店御希望の御方には御相談に應じ契約致候
目錄御入用の方に……

大阪市南區大和町

滿洲錢鈔證券交換株式會社株式提供

實益と趣味ノ津々タル　有望株式提供

本會社ノ事業
一、各種貨幣ノ兩換、地金銀、有價證券賣買交換及仲介
二、安東證券商品信託公所ニ於ケル證券商品ノ賣買
三、社債株式ノ募集及引受
四、不動産諸商品ノ賣買及仲介
五、一般信託事業
六、前記各項ニ附帶スル一切ノ事業

如上ノ營業ヲ營ム本會社ハ安東證券商品信託公所ト併稱セラルル好評嘖々タル安東取引所トモ稱セラルル……要セサルナリ然レハ敢テ贅言ヲ要セス……取扱店ニ至急御申込アラムコトヲ

提供要項
一、提供株數
一、最底プレミアム
一、提供方法
一、申込期限
一、同證據金
一、第一回拂込
一、同期日

申込取扱店
京城有價證券現物問屋組合

誤まられたる李堈公殿下

李堈公逸走事件

大同團一派の獨立運動

活動寫眞のジゴマ其儘　殿下安東縣に拉致さる

（廿六日午前十時警務局發表）

客月三十一日天長節祝日を期して京城を始め各地に騒擾を起さんとする計畫あるを探知し尹鍚泰、姜逸等の首謀者數名を檢擧し幸ひに事なきを得たるが之に關連して近く李堈公を擁して第二回獨立宣言書を發布し騒擾を惹起せむとする陰謀あることを探知したるを以て京畿道第三部は殿下に公邸附近を警戒したる處公は十一月九日午後十時頃從者金三福を伴ひ竊に其邸宅を脱れ所在明かならず依て警報を四方に發し極力捜査し遂に十一日午前十一時三十分頃支那安東停車場構外に於て公及び同行者鄭南用を發見し京城に保護連行せり同時に李在浩外數名京城初音町に潜伏せるを知り十二日末明初音町百九十二番地李觀修方に於て李在浩を逮捕し更に不逞者等京城彰義門外山腹の民家に在るを諜知し同日午後四時半韓昌律、金三福外一名を逮捕し且韓昌律の所持せし短銃及び家宅を捜索して不穏文書並に其の原稿及び印刷機一個を發見押收し次いで十九日に至る迄に巨魁全協以下共犯者數名を逮捕したり本件は二、三の事件と偶然競合せる錯綜せるのみならず目下京畿道第三部に於て取調中に屬するを以て其眞相未だ悉さゞるものあると雖も今日迄判明せる概要を記すれば左の如し

關係者の住所氏名

（逮捕）布木商　楊　楨（五五）
本籍　京城府寬勳洞百九十六番地
住所　右同
李堈公　郡事夫　金三福（五五）
（逮捕）
本籍　慶尚北道善山郡海平面松谷里
住所　京城府授恩洞三番地
（逮捕）　宋世浩（二七）
本籍　忠清南道公州郡上面維鳩里
（逮捕）　李達河（二七）
本籍　忠清南道扶餘郡窺岩面外里百五十七番地
住所　京城府齋松洞五十番地
李堈公妃の弟　金春基（二六）
本籍　平安南道平壤府以下不詳
（逮捕）　楊濟民（三四）
本籍　京城府苑洞二百六十番地
李堈公姿（李鍝公母）　金興仁（三六）
本籍　京畿道開城郡松都面本町七百五十一番地
李堈公看護婦　崔孝信（二三）
外關係者數名

本籍　民籍なし
住所　支那奉天省海龍縣北山城子大荒溝
出生地　京城府南大門外里門洞
（逮捕）無職　全　協（四四）
本籍　京城府觀水洞二十九番地
住所　同初音町百九十二番地
（逮捕）無職　李在浩（二一）
本籍　江原道高城郡縣內面徹洞
住所　京城府初音町百九十二番地
（逮捕）無職　鄭南用（三四）
本籍　平安南道平壤府上水口里八十三番地
住所　咸鏡南道元山府上洞三十四番地
（逮捕）無職　韓基東（二三）
本籍　京城府笠井町七番地
住所　同初音町百九十二番地
（逮捕）無職　韓昌律（五七）
本籍　京城府禮智洞六十五番地
住所　右同

事件企畫前に於ける　全協等の行動

大同團組織の濫觴　授恩洞で機關紙發行

本件の一半は全協の首として構思企畫せるものにて其策略や大膽にして細心其の手段や怪奇巧緻を極む全は京城兩班の家に生れ十四歳にして科擧に應じ二十一歳農商工部主事に任じ二年にして職を辭するや明治三十七年一進會に入り、同會首領の信用を博して同會評議員、及び總務員となり同三十八年京畿道富平郡守に任ぜられしが時事に慣り四十年に之を辭し同四十二年秋忠淸南道天安郡出身張某外一名と共に[illegible]に移住せり後全協外二名は一日相會し歐洲戰亂の結果小弱國は獨立を宣言若くは民族團結して國家の復興を圖らんとするものあり吾人も亦此の機會に於て祖國を復せざるべからずと協議し倶に國權恢復運動に奔走せんことを約せり

彼等は先づ米國に渡航して排日の首領李承晩等と謀議せんとし之に要する旅費を朝鮮に於て募集せむが爲相携へて昨年九月中旬京城に入り一名は（同人は其の後歸來せず）一名は慶尙北道慶州の富豪崔某を（同人は其後歸來せず）忠淸南道禮谷郡の富豪張某を訪ひ金壹萬圓の調達を乞ひしも拒絶せられ更に京城に在りて男爵某の子に金は生活費其他一千餘圓を贈與せられ十二月十日頃全、外一名は京城を發して上海に赴き金嘉鎭（假政府警務局長）金重浩、李元一等と會談し又密に渡米を企てしも成らざりき

當時上海に於いて朝鮮は講和會議の結果確實に獨立すべしとの說盛んに行はれたるを以て彼等は獨立の實現すべきを信じ從つて永く同地に留まるの必要なく歸り獨立に對する帝國官憲の行動を探るを急務とし本年二月初旬全は再び京城に歸り鳳翼洞に居住せり而して三月一日騷擾起こり全は元一進會員黨を糾合し獨立運動に奔走すべきを盟ひ全は專ら同志の糾合に盡力し運動は不穏文書の印刷配布を擔當せり是れ所謂大同團なる[illegible]

不逞漢の會合せし洗劍亭

利を以て誘ふ

弱点につけ込んで　李堈公殿下動く　密かに義和宮を脱出

李堈公は嘗て外遊の意あり公の弟金春基に對して米國に遊び歸國後徒食爲すべきを以て再び國外に出んとして屢々公に外遊を慫慂する處あり然れども常に資金に乏しく倶に不如意を歎ずるや久しく九月頃上海より派遣せられたる某來り公邸の附屬家屋内に於いて金春基と會し上海の形勢を談じ李堈公を擁立し且つ同地に赴く獨立の宣言を發し大に勢威を張るの計畫を說けり全協は公の意ある事を聞き遂に陰謀を企て某を利用して公に資金を提供し先づ公邸に於て公に面會せし際公が資金調達の意ある事可なるの意を洩せり全協は公の此の意を[illegible]金調達あらば其の事可なるの意を洩せり公は果を信じて三萬圓を借らんとし其の明日を九日と約せり而して前記の[illegible]公を上海に進出せしめんとし旅券（安東縣警務署の發給する旅行證明券なり）二通を用意し四日之れを金春基に交付し以て時機の到來を待てり

前記上海より派遣せられたる某は他の同志一名と共に派遣せられて來り李堈公を擁立せば以て大に勢威を張るを得べく李堈公も亦外遊の意あるも資金の調達に苦しめるを談ぜり是より先上海假政府員某金協を訪ひ男爵金嘉鎭を擁して假政府國務總理安昌浩に寄せ上海に赴くの希望を告げたるを以て今回は金男爵を同行すべきことを語り其の援助を乞ひしが假政府員某は其の歸國の際上海に赴くべき旨を語り會談の際金は李堈公も近く上海に赴かるる運びに至るべき旨を語り且翌日其の子義漢をして某に[illegible]

李堈公、金嘉鎭其の他貴族名士を多數網羅して上海に渡航せしめむとするものの如し

入金は上海假政府に總辭職を要求し全協は[illegible]しめたり（金は李堈公と極めて親密にして公の漁業の仲介をなすの關係あり）[illegible]

全協は巨萬の資金を調達するは容易ならざるを思ひ又多數の人を同行するの不可能なるを察し先づ金嘉鎭をして上海に赴かしめ次いで公の決心を促すに如かずと爲せり依つて金嘉鎭をして上海行を決心せしめたり

金調達あらば其の事可なるの意を洩せり

として金三萬圓を出さん此契約にして成立せば周旋料として金一萬五千圓を

全協は巨萬の資金の調達を[illegible]提供し某には特に其の内九千圓を給せんとし而して金は自ら韓某の[illegible]判ちは全く架空の人物にして某は直ちに之を以て資金調達のことを公に通じ更に公を訪ひ大いに勸誘する處あり公は漁基の問題は李王職事務官の運營を要するを以て手續甚だ煩瑣なり此の如き手續を要せずして借るを得ば調金を依頼せんと答へ（しかば某は之を李に語り李は復之を全に致せり

拳銃を突付て　最後の決意を促す

散々御馳走した揚句　公を擁して上海へ……

巨萬の金圓は固より金協の調達し得る處に非らず彼は初めより詐計を用ゐんとせり而して漁基權、漁業權（の）ことを以てすれば李堈公は必ず心を動かすべく又果は殷公の信頼する處なるを以て某を動かすを得ば此計畫容易に成就すべしと爲し全は李在浩なして利を以て[illegible]

茲に於て全は然らば漁基を抵當とせずとも殿下の爲資金を融通せむことを通告せしめ益々誘出の計畫を進め其日李在浩、韓基東、鄭南用（全協）李敏河（某、外一名は某を鍾路南支那料理店新世界に招き酒食を饗し茲に契約は成立せり

李敏河（某）は此の企畫に恐怖を懷きしもの如く其の所在を晦ませしを以て全協は狼狽せむことを恐れ急ぎ李在浩をして某をして[illegible]に李堈公に對し韓昌律を通じて李堈公に對し韓昌律直接握の約束の金を交付すべしと告げしめ十一月九日夜を以て會見現金授受を約せり依て某は約に基き同日午後八時頃公平洞三番地に赴きしも公は來らず常夜公は密に邸を脱して里門洞姿の宅の許にあり其の宅に於いて授受を行はんとし某と再三往復の後遂に某の言に從ひ午後十一時頃下男金三福を從へ來會せり

能はず全協進んで李堈公を擁立して上海に逃走する陰謀を縷說し遂に公の應諾を得たり此の時短銃を持て室内に入り來れる者あり當時全協は小鞄を開きて紙幣を示し公に謂ふて曰く此の金總額四萬五千圓を算す之れは漁基權の爲にするものに非ず皆獨立運動の爲に使用するものなり云々更に常昌律を呼び金千圓を某の家に屆くるを命じたりと云ふ此等金額は皆贋僞にして全協の所有せるものは僅に四百餘圓に過ぎざりき

公の應諾を經るや直に公を人力車に乘せ又全協の指揮の下に某を手縛し猿轡を篏め人力車に乘せ彼等は皆彰義門外高陽郡恩平面某方に連行せり

公は同夜全等に對し上海に赴くに就ては修仁寮居住姿金興仁、李鍝公母、及び看護婦崔孝信を同伴すべしと命じ興仁には故李太王が外國人より[illegible]

義門外に在ることを知り他の同志一名と共に同門外の洗劍亭に急行せり偶々鄭南用外三名は同所に在りしを以て彼等は大いに憤怒し公を上海に誘ふは我が宿望の計畫なりと述べ予の企畫を妨害するかと叫び互に激論せしが金春基は事の容易ならざるに恐怖し京城に逃げ歸り鄭南用等は果を愉落して互に其の意見の外に落ち交渉の結果未だ[illegible]他の一名を伴ひ出でて某方に至れり彼は同家に於て全協を見る安協せり而して十日夜鄭南用韓基東外一名は李堈公と共に徒歩水色驛に至り其の着用せる外套を脱して弊衣を纏ひ三等列車に乘らしめたり

宗世浩は官憲の捜査警戒の嚴なるを慮る爲特に南大門驛より乘車し更に開城の目的を以て一旦平壤驛に下車し翌日安東縣に向ひ又韓基東は開城驛に下車し京城に歸還し公及鄭南用李乙孝は安東驛に下車し李は司地より所在[illegible]

大同團首魁全協

事件の黑幕金嘉鎭男

翌後其の他秘密書類を入れある革鞄を預けあるを以て興仁をして之を攜へ來らしむべしと命じ又李在浩に對し碑洞の使（碑洞とは金春基の邸を指す）なりと稱し公邸に至り公妃等に渡せよとて書面を李に渡せり李は直に之を攜へたりしも同夜は公邸に赴かず自宅に在り翌十日午前八時頃鄭南用は更に徒として李在浩を訪ひ公は切に姿金興仁に會ふの旨を告げしが李の來るを待つの旨を告げしが興仁は東洞に至り面失なりて其の旨を金興仁に齎らしめたり興仁は頂かれる折鞄及旅行用寢具類を攜へ金春基及崔孝信と共に碑洞に至り李在浩に逢ひしに李は金春基の同行を拒み興仁及崔を伴ひ洗劍亭に至り李は興仁及崔の同行を欲せるより公は興仁及崔の同行を欲せるより全協等固く之を拒したるを以て公は翌日出發せよとて金二百圓を全協より受取りて旅費として興仁に交付し興仁等は京城に歸邸せり

金春基は九日公の資金調達のことを聞き李某と共に諸種の準備をなし其の日の到來を待てり然るに九日夜以來所在不明なるを以て大いに狼狽し踪跡を捜査しつゝある際前記の事件より公が洗劍亭に在ることを知り

遂に安東驛に於て平安北道米山警部の爲め發見せられたるものなり

平安北道にて逃走の警報を受くるや即刻自動車を命じ召集中の新義州署長及高等課米山警部を新義州に出張せしめ幸ふじて汽車に乘り遍く車内を物色せるも公を發す汽車國境を出で安東縣に到着せる時に於て臨檢せる巡査に對し所持せる旅券を以て氏名を僞りしが直に某外人經營の商會に赴き商會所有の汽船にて保蛇に航し上海に入るの計畫なりしと云ふ彼等は義親王李堈公の名により全道に不穩の諺言文を發して民心煽動計畫を立て既に印刷せるものを發見押收したり

加入者あり同團員は絶へず不穩文書を頒布して民心を煽動しつゝ以て今日に至れり

六月初旬此の檢擧せらるゝや全は飛禍に大清伏し以て證明洞楊楨方に寄寓したり六月二十日頃鄭南用を[illegible]咸北道金堤郡出身）金一千三百五十圓を投じたるを以て全は印刷器具を購入し授恩洞百五十番地に於て表面印刷業を裝ひつゝ密かに大同新聞を發行したり大同新聞は不穩過激の文字に富み民心を蠱亂せること甚だ大なり

李在浩は舊兩班にして韓國政府の技師となり又侍從たりしも不平の爲職を辭し今は落魄して衣食に窮し青年某と交際して以來不逞の行動を爲す者にて某とは平素懇意なるを以て某は容易に其の言を信じ全協の奸計に中れるなり即ち全は李をして某に說かしめて曰く『李堈公にして漁基權（公の漁場は目下慶尚南道蔚山府居住香椎源太郎之を借受け居れるが同漁場の收益多大なるより之が借受け希望者多數にして公は香椎との貸借契約期間滿了後に於いて之れを貸與する約あるも今回のことありし契約を結び屢々不正の借財を爲すことありと云ふ）今回のことも香椎との契約滿期後に新に契約を爲し其の前金を渡さんとする者あり）を抵當とせば富豪李某（實は架空の人物）は喜んで資金の調達をせん且つ此の契約に就ては同氏も亦參加すべし香椎源太郎の有する權利を借りて某と共に[illegible]

協及び李在浩は泥酔者を準備して公及び某を饗應する所あり全協は公の來會する以前に於いては大に某を優遇し朝鮮獨立に關する意見を尋ね某は怨みに其の不能を說き示したりしも公の來るや某を別室に誘ひ其の本心を語り且鄭南用外二名は窃に室内に入り内一名は短銃を擬して脅迫し某の同意を求めたり某は愕然色を失ひ漸く意を決し前室に歸り李堈公に對して『殿下決心せよ』と勸めたれども戰慄囁嚅其の意を盡す

卒直に誰何して公の一行たるを認め之を取押ふを得たり其の間髪を容れず彼等は安東縣に寄すれば

憐むべき妄動

斷じて假借出來ぬ　赤池警務局長談

李堈公に關する事件を發表するは當局としては甚だ遺憾に堪えぬ次第であるが斯くの如き事件を永く秘密裡に葬つて置くのは却つて世人の

疑惑を增

さしむる恐れがあると思考し當局に於ても搜查に妨げない範圍内で事件の成行を公表したのである。此事件の內容を見ても知る事が出來る如く少數の誤れる思想を抱く徒輩が樣々の權謀術數を弄し强て大勢に

波動を起

さんと企てるので一部の鮮人が妄想するが如く朝鮮現下の狀勢は確く安定を缺いで居る譯ではない。又渠等の行動を見るに徹頭徹尾誠意なく眞に國家民衆を慮ふのではなく唯一種の稚氣と感情に驅られて何の思慮もなく劇的妄動を演じてゐるは憐れむ可きの至りである。然し當局としては

世道人心

を惑はす渠等の行動を寬假する譯には行かぬ治安を維持する爲めには莫大な經費を投じて銳意警務機關の伸張を圖つて居るので充實した捜査網に依つて着々不逞の徒を蹴み殲滅して全鮮の安定を得さする考へである

出征兵から　四百萬圓

辛苦の中から貯めて送つた

西伯利亞出征軍人より內地へ送金せし爲替貯金は下關貯金局にて取扱ひつゝあるが出征以來本年十一月廿一日現在貯金及爲替の口數並に金額は左の如し（下關）

貯金口數九萬四千七百五十八▲金額百三萬六千六百八十五圓餘▲爲替口數四萬五千四百四十三▲金額二百八十四萬五千六百九十四圓餘

排日學生の　蠻行

臺灣人を死ぬ目に遭す

二十三日夜排日學生十餘名にて支那街通行中の臺灣人一名を捕へ殘虐の鐵に驅り打擲し瀕死の狀態に陷らしめ剩へ全身にコールターを塗り言語に絶する蠻行を加へて支那警察に拉致せるを探知し我領事より被害者を引取りたるが重態の模樣なり領事は直ちに馬尾港碇泊中の軍艦の福州來航方を依頼せり（福州電報）

此意氣を見よ

龍山中學生

龍山中學校生徒約三百名は職員引率の下に零下十度の嚴寒をも物ともせず二十五日夜より汝矣島に於て實施中の攻防演習を見學したるが兵士等機能嚴内に焚[illegible]

列車に投石

二十五日夜奉天發釜山行急行列車が京義線定州大邑間運轉中投石せしものあり是が爲め一二等食堂車硝子二枚を破損したるが幸ひにして乘客には何等微傷者さへ出さざりしこ

車夫の惡事

[illegible]

線路の兩側に　氷の堤を築く

我が鐵道隊の防禦策　流石の過激派も呆然

二十四日[illegible]西伯利[illegible]中于秋[illegible]過激派は[illegible]に乘じ時[illegible]るので[illegible]多い。所[illegible]非常に氷[illegible]壞を火薬[illegible]具でや[illegible]が防禦策として線路の兩側に土砂を積み上げ撒水車を以て撒水するに今の寒度の酷寒にすつかり凍りて鐵壁位の堤が出來上り破壞することが出來ぬ過激派も是れには呆然たるもある。お蔭で兆來は被害も少くなつたと同時に漸次解決して來た

灯頭

李堈公が逃走の際變裝を凝して三等に隱れ乘つた列車には偶然にも大林東鐵局長官も同じ列車に居た▲衆に皮肉な方面觀察の赤池警務局長官の一行が乘込んで居たが▲神ならぬ身の知る由もなく下車した後で其事を知つた時には開いた口が塞がらなかつたさうな

演藝

▲黃金館　明二十七日より新派劇『羽根子のオーム』新映畫『バドウ』『人の情』全四卷▲戰爭悲劇『砲煙の影』全六卷▲喜劇怪談『牡丹燈籠』全五卷

悲劇『人の情』全四卷▲戰爭悲劇『砲煙の影』全六卷の中『砲煙の影』は戰場を背景として悲しき戀を綴りしもの『牡丹燈籠』は劬にも撤影にも充分に新意を加へ

大連の滿洲俱樂部より挨拶狀

大連の滿洲俱樂部は內地遠征を終り過般恙なく歸連したる旨滿洲俱樂部より本社宛挨拶ありたり

運動界

釜山の野球戰

廿三日午後二時より釜山大正公園に於いて各俱樂部代表的選手を出場せしめ紅白試合を擧行佐々木氏審判、紅軍先攻試合に入れるが七對三にて白軍の勝利に歸したり右は釜山野球界の納會にして折柄の快晴に觀衆堵の如く非常の盛況なりき

紅軍		白軍	
林	(殺)	谷	(商)
中原	(學)	吉	(稅)
坂	(朝)	晋谷	(朝)
木福	(朝)	田	(釜)
田野村	(三)	原	(稅)
丸	(稅)	佐々田	(稅)
渡邊	(時)	山	(學)
內野		田	(稅)
尾崎		宮吉	

紹介

▲大澤商會の賣出し　去る十七日から本月末日迄の歲末大賣出しを開始したる大澤商店では年來の信用と自轉車、寫眞器機等の多數を網羅して居るので地方よりの注文際の外多く入込み非常な好況を示して居るので店員一同も喜び勇んで働いて居る一等賞品百圓の賞品券は未だ一本も出ぬ由で福運を覗ふ觀客はこれから倍々多い事であらう

○看守入所式　西小門內看守教習所にては二十六日午前十時より第七期看守教習生入所式を擧行し角田主事は典獄に代つて教習生三十餘名に對し夫々辭令を交付せし後一場の訓示を試み十一時半式を閉ぢたり

演藝案內

日本活動寫眞會社代理店　櫻井町　大正館　電話八七三

○◎當る廿二日より現代大悲劇『居酒屋の踊り娘』千尺▲滑稽劇『娘二人の悪戯』

伊太利チネス社大作品　名優ブランチスカ主演　悲劇『居酒屋の踊り娘』

新派悲劇『殘る花』全六卷　長田幹彦先生原作山本一派出演

陸軍特別大演習實況　說明者野村雅

浪花館　電話二六○

橘圓次郎一座

喜樂館　電話九七番

大阪浪花節　桃中軒雲右衛門

▲陸軍特別大演習實況

パークルーの姫君

大久保彥左衛門　漫遊記

黃金館　電話二六三七

『人の情け』全四卷

悲劇『砲煙の影』全六卷

牡丹燈籠　全五卷

●小男も　大男となる

●伸長器の發明●器械無料貸與
男女共背が低いと一生の損だが分らない方が近特許局の登錄を受けた身長器は全身の骨を伸ばし……希望者へ無料で貸與……詳細は東京橋區……ハガキで申込め

陸軍異動（第七師團長……）
仁川期米　……
天氣　曇但少雨雪

第五版

話しにならぬ殘忍な馬賊の人質虐待談

人見御供にあがりたる二邦人

遭難者手記

左に掲ぐるは『馬賊に捕はれたる邦人』と題して掲げたる横地信果氏手記の續稿なり

…森林の四十清里の行程は悲慘であつた半途薄暮寒さ漸く嚴しく足が凍えて歩行に堪へぬので焚火を乞うて漸く許され暖を執ることが出來た、一行に對する要求は提出された、曰く、奉天小洋二十五萬元、モーゼル銃八挺、こんな要求は應ず可くもないので斷然拒絕すると『よし今日は…

面倒序でに引張

零下四十度下た三人は今日の寒さを一日々々と縮る命を抱いて過す心の裡は如何

…こそして辛うじて寧安に歸つたのは實に明くる十二日の午後二時であつた、今朝の寒さは零下四十度…無事歸還した我等六人は温かい室に匿伏するが殘された三人は今日の寒さを…

殘粟を彼等が使した洗はない箸で

飢を凌

最後の要求が來

斧を以て一つ毆

結局賊の選擇

留る者も歸る者も共に斷腸裡に

…袖を分つた、放された…此山家を離れ…山百餘清里の道程を…うに午後八時花蓮溝口に着いた…

明年諸工事（安東縣）

（本欄は紙面不鮮明にて大部分判讀し難し）

商況

株式

米況

織元から直接廉賣

大幅約半値段

吉本木商店

登錄商標
腸胃病
腸胃の病に罹り易き此頃油斷をすると惡疫に犯さるゝ恐れあり今は大に注意すべき季節なり此際腸胃藥として最も確で且速に効顯ある本劑を常に服用して腸胃の保健を圖らるべし
健胃固腸丸
主治 食傷、寢冷、時候あたりから起る下痢と腹痛を治し腸胃を強健にす
定價 七十粒入貳拾錢 百十粒入卅錢 二百粒入五拾錢 四百廿粒入壹圓 千二百粒入三圓 三千二百粒入五圓
本舖 大阪市東區伏見町二丁目 東京市日本橋區新葭物町 谷回春堂
各藥店にあり、商標及本舗名義に御注意あれ

伊達騷動

第七十席　小金井芦洲講演

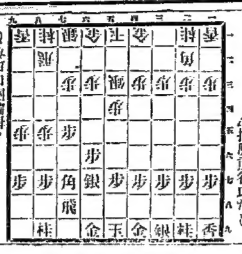
小三郎詰られる

伊達安藝は簡言葉を進めて安『のう、小三郎、斯様に主從の睦まじいと云ふものは外へ聞えても誠に心持が好いものぢや』小『イヤ有難く存じ奉ります、手前も幼少の頃からお手許に罷り出で、今日まで御奉公、一日片時も御恩の程は忘却をいたしたことはございませぬ』安『アヽ然うぢやらう、サヽ茶を呑みなさい』小『へエ是りやア恐れ入りました』安『小三郎、訊ねてはな』小『ハイ』安『唯今其方が見て居つた手紙、ありやア何だ』小『ヘイ』安『鳥渡見せなさい』小『恐れ入りましてございますが、切望是れだけはお見逃しを願ひたう存じます、何卒御容赦を……』安『見せて呉れイ、親しみの好い睦まじい主從の仲、何も手紙を主人に隱すには當るまい』小『隱す次第ではござりませんが、餘りご申せば他愛のない手紙、恐れ入りました』安『ホヽウ、他愛のない手紙と云つて、何處から來た手紙だ、友達かの、それ共また其方の緣類か』小『……』安『では云へぬご申すのか』小『然らば申上げますが、お咎めのございませぬやうに』安『強て聞いて置いて何で咎める者ではない、何んだ』小『先年御前樣のお供を出りまして江戸表に出府いたし妻子がありながら誠にどうも怪しからぬやうではございますが、ツイ同僚に勸められ夜罷り越しまして』安『エ、吉原町へ』小『ハヽア』小『二三度馴染を重ねました、其の遊女から參りました手紙』安『アヽ然うか、其方ア卸々色男だ、モウ自分のやうに老年になると然う云ふ艶の話は全然ない、ぢやが江戸表に出府の折など、徒然の節にはな、吉原町と云ふ廓へ一度は參つて見たいと思つたこともあつたが、身分柄を考へ、召使ひの手前を憚り、何の彼んのと妨げられて遂々見ず仕舞ひぢや、何と書いてあるだらう、ウム、嘸かし面白いことが書いてあるだらう、是非見せて見れ』小『イエ、飛んだことでございまして、誠に持ちましてございまして……』安『コレ、誠に持ちまして何で見せられぬ、傾城遊女など云ふものは淫を賣つて其日を送る淫の商人ぢや、其者から參つた手紙ぢやから、マア商家の帳面しか通帳みたいなものだ、何と書いてあるから云つて差支ない、是非見たい、見せられぬことはないだらう、サア見やう、鳥渡見せろ、コリヤ小三郎見せんか汝れッ』俄に變る安藝の態度ブルブルッと慄へた 安『コリヤ汝は心得違ひをいたしたな、ウムー、女房の緣合から借ては金子か何ぞの爲に誑らかされ、兵部少輔や原田甲斐など、合體致し居るぢやらう、お家を横領せんと云ふ大惡人の許より參つた手紙に相違ない、地を打つ槌は外るゝとも安藝の眼に違ひはない筈、どうだ』誠忠無二の安藝の活眼に兩色土の如くに變じて兩手を突き玉の如き汗を掻いて居りました 安『若し云はぬとあれば拷問に掛けても誠のことを白状いたさせるぞ、見せイ、コリヤ小三郎』飛下つて疊に頭を摺付け 小『ア、恐れ入り奉ります、露一點も違はぬ大活眼、今は何をかお隱し申上げませう、家內を迎へ子供を儲け、多くの御手當を頂きまするに拘はらず、ツイ價數の執りやうを過りまして借財を作り、據ろなく朋輩井源三方へ金子借用の儀を申出でましたのが抑もの基、惡い事とは知りながら惡人原田甲斐殿に加擔を仕りましてございます、最早三月程、毎月原田殿より手當を貰ひ居りました、今は私へ申付けの手紙、三代相恩の御主君の恩義を忘れ、惡事に與しました私、今は一命を投げ出して有りの儘を申し上げます、イザ、御成敗の儀を願ひたく……手紙は即ちこれで……』手に取上げて安藝が見たが少つとも分からない。

牛乳 朝鮮産ホルスタイン 御用
京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

將棋新手合(二)

於京城賞金町三丁目三五 滿呂木將棋所(電話二〇二八)
左香落 △京城熊谷順太郎(三段) ▲釜山園田豐(二段)
(圖は五三銀迄の局面) △持駒熊谷氏なし



△七六歩▲八四歩△七五歩(イ)▲八五歩△七七角▲九四歩(ロ)△七八飛▲五四歩△六六歩▲四二銀△六八銀▲九五歩(ハ)△七七銀▲五三銀△六八角▲六二銀△五六歩▲六四銀△四八玉▲三一角(ニ)△七六銀▲四二玉△六六歩▲五三銀(以下次號)

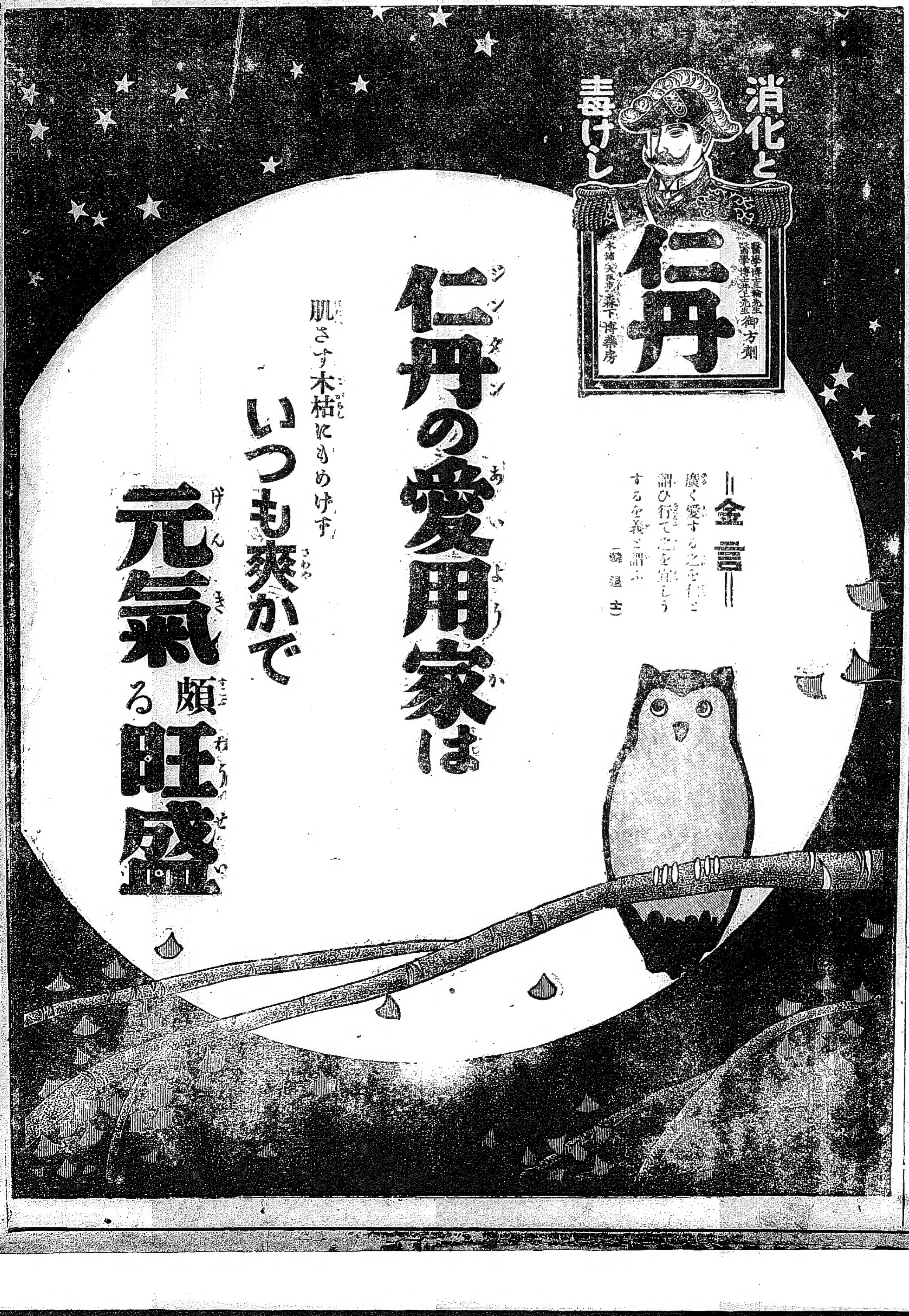
滿呂木六段講評
▲(イ)七五歩突きは早し此處は五六歩と突き敵の模樣を窺ふ處なり
▲(ロ)九四歩は早し此處は上手の七五歩早きを咎める含みにて五四歩と突き爲指定跡に指すべし
▲(ハ)九五歩も早し矢張り五三銀と確定の作戰に進む方よろし
▲(ニ)三一角引き惡手なり此處は四二玉四八玉三二玉三八玉三一角と指すを順とす

十一月廿八日

(舊)十月七日 金曜日 ▲きのへ ▲四緑 暗劒たつみ(東南) ▲鬼 ▲佛滅 ▲納

▼四緑▲念入に物事を爲すべし
▼五黃▲見込み違ひの事あるやも知れぬ日但し金錢に緣ある日
▼六白▲正しき望みなれば叶ふべし但し虛言を忌む又交際注意
▼七赤▲辻褄の合はぬ如くにて誠を盡さば成功すべき日なり
▼八白▲外面のみは好く往々に當てこその外れ勝ちなる日なり
▼九紫▲思ひし程の事なきも勉強すれば他日に効果現はるべし
▼一白▲疑念の起り易き日なり
▼二黑▲望みの叶ふ好き日なれども我意を張る時は事破るべし
▼三碧▲商賣氣の出づる日なれご熟考して掛らば利益を得べし

京城明治町 電話貳三四〇
產科婦人科 中央婦人病院 院長 衣笠舜山



いがん
食道がん 胃がん 癌腫にて多年の難症も心配無用良藥有 詳細は返信料添申込有
兵庫縣明石郡大久保町 森末家

公債株式現物賣買 證券担保之金融信託 工業藥品理化學器械 滿洲製紙會社特約店
龍 闕澄商會
大連株式商業組合員 滿洲證券現物市場仲買
大連市若狹町一二三 電話長一七九八番 振替大連二一〇二番

雨覆シート廉價調製需に應ず
綿帆布 撚糸 商 大谷商店
營業所 大阪市西區南堀江下通り二丁目 電話西三八九九番 四二七番
工場 大阪府東成郡榎並町

皮より強い理想的の
專賣 柳織トランク
其他旅行用具一切
魔法瓶及中瓶取替
京城本町電話貳五四番
高木旅行用具店

パイン萬年筆
正宗は切れるが故に名高く パインは書けるが故に名高し
THE PINE 堅牢 優美
京城日報代理部

京城明治町二丁目江戸川横(電話六二三二番)
內科 小兒科 森病院
入院隨意
醫學士 森定吉

兵庫縣灘魚崎 山邑酒造株式會社釀造
宮內省御用達
櫻正宗 發賣元
サクラ正宗
山邑酒造株式會社京城支店 京城明治町二丁目 電話長八四九番 振替貯金口座京城一四五四番 七五番

京城電氣會社 瓦斯會社 滿鐵 一手販賣
コールタール
金物商 島田忠作商店
龍山漢江通り 電話四九八番

資本金 六百萬圓 積立金操越金 百貳拾五萬圓
株式會社 十八銀行京城支店 京城府黃金町二丁目 電話四〇番五八〇番 振替貯金口座京城八一四番
同 新龍山支店 京城府漢江通り 電話五〇番 振替口座京城一八三番
同 龍山出張所 京城府元町二丁目 電話一八番
銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

痔疾專門 京城明治町二丁目(本町より入る中央) 京城久枝肛門病院 電話二一〇二番

京城日報
第五版
（年中無休刊）
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

內地人に誡告し併て朝鮮人の自省を促す

加藤扶桑

予は[illegible]内地人と朝鮮人とが不和合になりし原因につき其の責の一半は朝鮮人亦之を負はざるべからずと言ひたり今その理由を說明せんとするに臨み豫め斷り置くべきことあり[illegible]に所懐を陳述せんとするが[illegible]包まず藏さず率直に故に其の言ふ所或は半島同胞の氣に入らぬことなしとも限らず然れども表面上に巧なる辭令を[illegible]て事實を曲ぐるよりも胸中の塊磊を有りのまゝに披瀝する方が誤解を解き諒解を求むる上に於て遙に優れる方法なりと思惟す而して朝鮮人諸君が公平無私の心事を以て吾が忌憚なき說を聽くの雅量を有することを信ぜんと欲す

抑朝鮮人が內地人に對して及び日本の統治に對して慊焉たらざるものある所由については予は少くとも二つの大なる原因ありと思惟す（茲に謂ふところは不謹慎なる內地人の言動に對して並に行政に關して起る處の不平不滿等は一切之れを除外してなり）假りに之を積極消極兩面のものにして積極の性質を有しるものは朝鮮人の自尊心自負心に基づけ其の二は消極性にして朝鮮人が日本に對して僻情を抱くこと即ち猜疑心を挾むことなり

第一朝鮮人の自尊自負＝凡そ一鄕たり一地方たり一邦國たり一民族たるを問はず孰の人か其の據る處に即して自尊の念自負の心を抱かざらんや或は江戸ッ子と誇り或は九州男兒と叫び吾は佛蘭西人なり吾はアングロサクソン人なりなど誇るの類皆然らざるなし朝鮮人が朝鮮人としての[illegible]も是も異とするに足るものなし此の國土は四千年の歷史を有する國土なり此の人民は四千年の文化を有する民族なりとの自信は獨り彼の獨立運動者の敵愾に止まらずして實に半島の何人も懷抱する處の感想ならん然り朝鮮は四千年と云ふは誇張に失するも少くとも二千年以上の歷史を有する邦土（其の[illegible]統一且つ完全の獨立を有したることは未だ曾て之れあらざれども）なり同時に二千年以前より夙く既に郁々たる文化燦然たる文物を有したる人民なり朝鮮人は[illegible]民族が之を誇り之を恃むは固より民族自然の情として少しも之を非議すべからざる而已ならず寧ろ此の信念と志氣とありて向上發展の希望に富めりと謂ふべし

生別死別

＝（不許無斷複行）＝

服部硯月

第五六　奇遇

砥上も傍で聞いてゐた大概の樣子を察した、そして這入つた時三浦未亡人が井上さんと呼掛け、前々から知己らしい事や、巡査の年配から、亡父が臨終の時、自分に代つて思ひ返して呉れ、と言遺した判事の相手の若い探偵の井上である事を察した。そして又重吉が茲に居ては母子の者が實際を打明け難いことを想ひ巡査に[illegible]ひ出た。

『貴官に斯う云ふ事を申しては誠に道で無いかも知れませんが米屋さんを此儘お還しになる事は出來ますまいか。品物は私の方から御當家にお返し申しますから』

『でも果して正當に讓り受けたか、或は橫領したのか、被害者と當事者の言を聞きませんと判明致しません、そして若し當事者の意志に反して取つたものとすれば橫領罪が成立します』

『併し夫れがです、聞けば米代や野菜代の代りと申しますし萬更の橫領や强奪とも譯が違ひませう、品物は私が無償で御返却申しますから勘定の方はそれで濟みませう、所謂微罪不檢擧を願ひます、若又調査の必要がありましたら更に召喚する事と致しても、本件のみに關してならば、まさか、逃亡する憂ひもありますまい』

『併し貴君が無償で御返却になると云ふ理由もありますまい』

『此點に關しては緩々御話し申したう御座います、それに就きましても、餘り關係の無い人に對しては少しく他聞を憚りますので……』

『左樣で御座いますか、では一應放免する事に致しませう、オイ重吉！お前は本統に幸福だぞ此の旦那が無償で[illegible]をお返し申すから助けて[illegible]仰るので此儘許して遣、以後斯う云ふ事を致すと承知をせんぞ、用事があつたら何日でも呼出すから神妙に家業を働いて居れ！』

『はい、どうも有難う御座います』

更に砥上の方に向き直つて

『旦那どうも有難う御座います、お蔭樣で命が助かりました、へいへい、どうも……』

米屋は頭を搔きながら、幾度となくお辭儀をして引下がつた。美代子は漸くに胸を撫で卸した。

『始めてお目にかゝりまして斯う云ふお情にあづかり、誠にお禮の申し樣も御座いません』

『お禮と申されては却つて痛み入ります』

砥上は更に井上に向き直つて

『誠につかんお尋ねを致しますが、井上さんと被仰る樣に承りましたが、若しや常太郎さんと被仰らないでせうか』

『未だ姓名も申上げませんで失禮致しました、仰の通り井上常太郎と申します』

『是は恰度好い處でお眼にかゝりました、定めて御記憶で御座いませう、あの先年御當家の御主人重之樣及び貴君には教科書事件で一方ならぬ御配慮に預かりました砥上忠雄と申すのは、私の父で御座います』

美代子も其の當時良人から薄々聞いた事はあつたが其の奇遇に驚いた。

神仙爐

嘉道六家の詩（九）

劍花坊

龔嗣緒、字は顕甫、芙初と號し、江南省陽湖の人だ。嘉慶十三年進士に擧げられた。其詩集を尙絅堂集と云ふ。

一表通天平却灰。南家武帝總堪哀。西池王母西天佛。看盡人間富貴來。

南家の武帝は、仙を希うた漢武帝と、佛に佞した梁武帝を云ふたのだ。

草色超超入謝家。小池一綠滿於紗。東風不要間愁散。蛩吐階前落落花。

アッサリしたスケッチに小さな京觀を寫してゐる。

煙雨來尋十六樓。情懷小極暮江頭。西風斷雁悽橫幅。染出金陵一半秋。

千疊繁花千疊雲。平分秀思向東君。分明照見瀟湘水。妬殺江湖幅幅裙。

などは其傑作だらう。

貝杓子御賣出し　福岡市博多柳町　サヨタ商會
△見本御入用の御方は郵券四十錢御送附相成度▼

料理の友　十二月號出來!!
男女共學の可否
生活改善の諸問題
今年を回顧して
海藻類に就て
七十錢會費で見事な忘年會
クリスマス
むき料理　秋刀魚
家族團欒夕飯獻立　小豆隱元　速成イースト
温かい丼飯

商業登記公告　京城地方法院春川支廳

婦人画報　十二月號
社會と個人
美術の秋
魔女天勝
武藤勞働大臣夫人
丈夫な齒を子供に
廚川夫人
初冬の物菜
肩掛と帽子
腎臟病と食物
身を切る金
源氏車
犬の返事
由緣の女
忘れがたみ
發行所　東京社

昆蟲學汎論　理學博士 三宅恒方先生著
下卷完成　出來
發行所 東京 裳華房
大阪屋號

家庭雜誌　十二月號
親を離れ行く子の心
良妻と賢母
思案より實行
家庭と人格の教養
婦人修養夢を破れ
霜の花
石割櫻
櫻の庭
潮の花
四十前に子供の病
家庭の音樂
本年の希望
子供の味
冬の食物
東京市小石川　博文館

飛行練習生募集　飛行研究所

婦女界　新年號　經濟の本年末號
經濟の道徳
國際勞働會議
我家の經濟の變動
賞與金の遣ひ方
最近に於ける我家の食糧
主婦の讀物
ロミオとジュリエット
愛の力
花見の御所
嫁ぐ頃
人の罪
形見の小車
婦女界社

最新刊　京城地方法院
大阪屋號

商業登記公告

菓子特約店募集
日本で初めて出來た水晶菓子
特約希望者は至急照會せられたし
東洋水晶紙株式會社製菓部

錬膽錄
初版忽ち賣切れ　再版發行
三笑中村健太郎著　仁林聲仙書伯揮毫
日本魂の教科書として特に學生諸君に推奬す

養豚と兎の飼方
京城日報代理部

年末謝恩大賣出
十二月 1 MONDAY
御贈答用 商品券
年末特價品提供
景品券
主ナル景品
九一呉服店

▲實務家は如斯ものを要求す
▲完全無缺の萬年筆
▲即ちハレー萬年筆
▲修理應依頼
▲二圓以上七圓迄
京城 熊平支店

鞄は
製造元の
古賀鞄製造所
京城明治町二丁目
電話一八三三番

內地 御贈答 朝鮮名物
絕好品 風味佳絕
明太魚からすみ
漢陽高麗燒窯元
朝鮮物産商
海市商會
京城本町

軍隊拂下被服類
村上商店

條約効力發生期

一月一日に非ず依然十二月一日

講和條約批准寄託の効力發生期間は十二月一日に略決定せる旨外電は報じ且つ外務當局も是れを認め居れるに拘らず更に外電は其の明日遲延を報じ一月一日となりたりとのことなるが右に關し外務當局者は曰く其の筋には未だ延期の電報來らず依然十二月一日と信じ居れり元來一月一日説は舊聞にて一月一日説の行はれたる後十二月一日に確定したるものにして同日より効力發生するに相違なしと信じ居れり(東京電報)

米講和形勢依然

前途難關横はる

米國議會は十二月一日開會せらるべきも明年一月以前講和條約の再提出を爲すこと無かるべしウイルソン氏は講和條約批准の前途に就て何等測言する所無きも上院の可決せるが如き保留には反對すべく形勢は講和條約が初めて提出せられし時と同様なり尚政府は條約に於て認容せられたる獨逸船舶及び敵國人財産沒收に就き前途に難關を控へ居れり(華盛頓電報)

拒絶効力如何

英國下院にて米國上院の條約批准拒絶の効力如何に就き質問せる者ありボナーロー氏は之に應へて曰く右は他國が條約を遂行せんとするを妨げずと斷言し米國の態度如何に拘らず英國政府は國際聯盟を有効ならしむ可き決心を讓むる事無き旨議會に對し保證する所あり然し英佛米同盟條約の効力は米國の批准に俟つと説きたり(倫敦電報)

日本特殊待遇意見

勞働顧問の抗議=委員長の辯明

日本の勞働者を劣等國に加入せしむる件に關し我勞働委員顧問武藤七郎氏は十三日同委員會席上右に關し强硬なる抗議的辯明を爲したるが是れに對し資本家代表武藤山治氏は熱心に反駁する所あり更に同委員より政府の意見を述べたるが結局委員長バーンス氏は日本勞働者の能率低きを認むると共に勞銀の低きも亦是れを認めざるべからずと論じ未だ決定に至らず而して政府委員は日本は永久に特殊國に非ざるを宣明し日本の工業が過渡期にあると更に特殊事情のあるありて歐米諸國より其能率の少なきと從つて特殊の待遇の止むなきとを説き同問題に對する政府案を提出せり其内容は時間の問題は既報の通りにて勞働能率の低きと勞働者と資本家との因襲關係等は概説したる上生絲、紡績業、鑛山業、燐寸業等の實情より時間制限の困難なるを詳説し日本の勞働者の多數が果して時間制限を要求しをるや否や疑問なりと述べ特殊待遇を主張せりと(華盛頓電報)

日本ベルン條約加入

勞働會議日本代表は語つて曰く日本は燐寸製造に黄燐の使用を禁止するベルン條約に加入すべく其の實施期は一千九百二十三年一月一日なるべしと(華盛頓電報)

カイロ騷擾光景

秩序漸く恢復す

カイロに於ける騷擾は今尚ほ歇まず示威運動團は埃及の旗を掲げて行列を行ひ電車を襲ひ暴行次第に募りて騷擾は五箇の地方に擴がり警察署三箇所を襲撃し警官數名負傷したるが埃及歩兵大隊及び警官隊は發砲したる爲め暴徒側に若干の死傷者を出したるが彼等は其の屍體を擁して市內を練り歩きたるを以て遂に英國兵を出動せしめて示威運動者を追ひ拂ひ漸く秩序を恢復せしめたり歐洲人には損害を受けたるもの無きも死傷は百二三十名にして其の中十名は流彈を受け數名死亡せり(カイロ電報)

匈牙利首相新任

カール、フザール氏は匈牙利首相に任ぜられたり(倫敦電報)

西伯利增兵見合

=閣議にて決定=

西伯利派兵增加問題に就ては廿五日の閣議にて公明正大なる行動を執るに決し結局增兵は當分見合せの事に決し其腹案を作る事となれりと(東京特電)

外蒙自治取消調查

徐總統は外蒙古が自治を取消したるを機會とし外蒙古が露國の煽動に依り獨立を計畫し自治の制度を設けしより今回の取消しに至る迄の經過を調査せんことを國務院に命じたり(北京電報)

過派侵入防止策

徐樹錚氏歸京と自治取消問題

徐樹錚氏は庫倫を發し二十四日夜歸京し二十五日朝總統に謁し蒙古自治取消前後並に將來の方針等を陳述せり今回徐氏が急遽歸京の主なる理由は露國過激派の蒙古侵入防止の爲め或は西北邊防軍を增發するの計畫に關するものにて若し之れを實行せんとせば日支軍事協約の關係上日本と協議する必要ありと傳へらる(北京電報)

福州事件調查

福州事件に就きては目下日支雙方共事實の調査中なるが該問題は福州にて地方的に解決さる可きものと日支兩當局間に聲明されつゝあり(東京特電)

水野總監接見會

朝鮮關係の諸名士招待

……

總監演說

此機會に朝鮮統治に就きて一般な誤解するは欣快とする所なれ八月官制改正なる文官となり憲兵警察制度の廢止を見猶目下改革の途中にある諸般の施設妙からず要は一視同仁の聖旨に基き……

言論の自由……

皆時代の要求

……

ベリー博士演說

理想を宣傳……

水野博士始め總督府の各位は宣教師が批評家なる事に氣附かれたりと信ず批評は宣教師の職務の主要部分に非ず然れども宣教師が倫理的に宗教的に……

……我佛國には「知らざる者は愛せず」との諺あり朝鮮に於ける總ての人々は先づ双互に知るを要す而して目下の朝鮮に最も必要なるは人心に信を得るにあり、疑惑と猜疑とを排するにあり然れども余は水野博士等の努力に依り朝鮮が幸福に向はん事を信じて疑はず……

=夕刊の續き= 次いで阪谷男はオルトマン博士を嘲く、博士は白髮を輝かせつ……斯くて演說を終り後三々伍々談笑裡に散會せり席上水野總監及びベリー博士の演說次の如し(東京特電)

朝鮮所感(二)

阪谷芳郎男演說

◎然し乍ら幸にして露國しまして茲に於て日本完全なる滿洲及び朝鮮解決が著きました、即ち云ふものは全く露西亞の關係から離れまして……

米國人の個性(四)

在紐育 劍橋生

中山侯へ授章

……

朝鮮統治說明

水野政務總監は二十五日……

東京金融近況

十一月二十二日現在の組合銀行の週末現計……

辭令

廿五日左記……

京城逐鹿戰

目下の形勢

……

激烈ならざる

……

名乗を上げた

……

商議機關擴張

……

海外情報機關

……

朝鮮運輸 十一月

……

滿鐵新線開業

……

松丸會社認可

……

軍司令官南氏

……

鳥瞰錄

……

人事消息

……

京日案內

畑硝子工場

公告

工事請負公告 京城府

釜山商店案內

島田糸店

あづまや

長岡商店

角野商店

三谷商店

小西會社

美乳 御旅行の時 必ずお忘れないやうに! 本舗 矢野芳香園

看板はフシノ工舎

最新型 冬帽

大日本優等清酒 白鶴 品質純良 衛生無害 合名會社 前田酒店

各時計卸商 喜多金光堂

攻防演習觀戰記 (第二信)

天暗く地黑し

寒氣は萬物の形を縮む
あはれ深切なる一兵卒の心よ
聯隊長の爲に勞苦も厭はじ

統監部露營地にて 矢橋特派員

…砂原を急いで行くと兵は飯盒を串刺しにしながらやつて來た。

闇の中に 人ありと見て寄つて私達が熟視した。一人の位置を聞くと、…灯火を指さしながら…存じませんが、彼所に…詰所で主計…分配して居られますか…ら…お聞きになつたら…う多分第一線の方であ…

不滿なく 唯渾身聯隊長を慕ふのみであつた。彼は聯隊の從卒である…天暗く地黑く、寒氣は萬物の形を縮めて、あはれ此の汝突島も今や夜の色に包まれた儘、凍りゆくかと怪しまれる計りであつた、凄じい風は…

草を伏せ 砂を飛ばして荒びに荒らび狂ひに狂ふ。三人は默々として闇を喚轉ばゝそこそ迪つた。…龍山の方向には蒼い灯紅い灯が大江を越えて瞬いてゐる。

氣の毒相 に云つた。深…歸して歩む事約百米突…て荒井牧場に迪りつい…牧場は兵に取つては沙…るオーシーズである、…が如きの時、主人が饗…給湯は如何に兵の身…醉りあらう、今回の演…氣も無く總てを開放し…勞み穢らつてゐる。牧…は各所に兵が集まつて

飯盒炊爨 をしてゐる、…を張つて疲れた足を投…るものもあつた。焚火…と紅く燃え上がると…は元氣の好い兵の顔が…と浮かぶ。糧食分配の…監部の位置を聞いて居…の聲を聞つけ、闇から

一人の兵 が現はれた。…へ行かれるのなら、私…します、暫く待つて下…深切なる言葉である。…選を右見左見…のお方ですか、お褒い…勞ですな』と却つて私…て與れる…

…『いゝえ、…でせう』…と云ふ…うでも有ません、併し…靴の先き だけは夜にな…

前列右より二女都子孃(一三)四女茂子孃(八)長男道明(五)三女芳子孃(十一)

新任東條海軍少將の家庭

榮進する東條大佐

生つ粹の江戸つ子で
正木鬼大佐と同期生

『日こそ淺いが朝鮮の印象は永く僕の腦裡から去る事はあるまい』

新に海軍少將に陞進し佐世保鎭守府附に榮轉と內定した總督府武官東條大佐を總督府武官室に訪ふて榮轉の喜びを述べると『ヤ有難う、京城にも最うお別れだ、去年赴任して來たのが恰度十一月だから

滿一年で 懷しい京城とも別れねばならない日は淺いが朝鮮に關する印象は永く僕の記憶から離れる事はないだらう』と欣びの中にも住馴れた天地を愛惜する情が現れた。大佐は生粹の江戸ッ子である。明治四十二月東京に生れて海軍兵學校を卒たのが明治二十七年、恰も

日清戰爭 の最中、北洋艦隊の六月には軍艦橋立に乘込んで出征し威海衛の攻撃から澎湖島等に轉戰して功あり、日露戰爭には初瀨艦にあつて潛航艇乘組に轉じ後に大本營附となり戰役中少佐に進み大正三年大佐に陞り大湊要港部參謀長から

總督府附 武官に轉じ今日に及んだ、家族はいし子夫人との間に長男道明君の外妥孃三人の賑やかな家庭である。

國民大會

殘黨の公判

二十六日開廷

…かな夢を結ばんとしてゐるものも尠くあるまい
…星が一つ尾を長引いて飛んだ。

鐘路パコダ公園の國民大會に關する保安法違反事件は甞に其の一部分に對し判決言渡しありしが被告韓南洙外十五名は其罪狀に依り別個に審理を遂ぐる事となり二十六日午前九時より地方法院第七號法廷に於て公判開廷。中部長山澤檢事立會朝倉大久保、金、李の六辯護士出廷山澤檢事の論告田中部長の審問等あ…りしが近く判決言渡しある筈

進退伺

長岡中將 飛行協會へ

帝國飛行協會副會長長岡中將は…協會理事會に對し終に進退伺を提出せり(東京特電)

朝鮮統治 の意見

…『僕の同期生は旅順閉塞で有名な故白石少佐や正木大佐其他多士濟々である、狩鈍の僕が…るまいが、内地人が朝鮮を觀るに兎角皮相の觀を免れないよう…めて近く接觸して居てさへ却々完全に理解し得ないのに内地から遠く眺めて内地人同樣な解釋をする傾きがあるが鮮人の…は總てに於て內地人とは大分…違があるから

舊式でも 夫れに適應した施政が必要だらう、頭ごなしから殖産した一派の妄想家連は放擲して行くより外あるまいよ、朝鮮の現在の民度は聊か吾國の明治初年時代に似て居る、日本が五十年費した文化を朝鮮は二十年で求め得る立場にあるのだから早く實力を漸進して眞に同化の實を擧げて欲しい』

刑事に化けて

嫖客を恐喝

平安北道宣川郡深川面正円谷里崔宗元男(二三)は本月十四日午後四時頃府內雨進洞七十九番地妓生…方にて刑事と觸れ込み恰も同家にて遊興中なりし鮮人三名に對し身體檢査の必要ありと云ひ酔倒れ居たる一名のポケットより現金三百圓入の財布を取出し中を改めたる後五十圓を提供せよと脅迫したるより彼等は『之は牛を買ふ金故支那料理にて勘辨して呉れ』と七圓餘の支那料理を提供したり同人は内に侵入童笥の抽出を開けながら金員の提供を迫りたるも遂に目的を遂せず其の場に醉ひ倒れたるを見濟まし右三名は逃げ歸りたり一方隣室に居合せたる同洞九十五番地崔明善は初めより此の始末を目撃し憤慨遣る方なく同人の醉ひ倒れしを見るや直ちに鍾松洞警官派出所に訴へ…

大繁昌

豫防注射

…ご届け出でし爲同人は難なく取押へられ二十五日恐喝取財にて檢事局に送らる

患者は二人共鰯の酢物を食べた

南米倉町の虎疫患者西森ヨネは二十五日遂に顚化して死亡したるが爲府民は一層怖氣付き二十五日府內各町總代の許で豫防接種は受けたものが一千七百餘人に及んだ所である衛生當局は『湯川幸太郎も西森ヨネも共に鰯の酢物と鮨とを食たらしいので目下魚類の原産地を取調べ中であるが此際生魚を其儘食ふ事は絕對に避くべきである』

豫防注射日割

鍾路署管内

鍾路警察署にては左記日割に依り虎疫豫防注射を施行する筈なるが場所は優美館なりと

十一月廿六日觀底洞、杏村洞、館橋洞、橋北洞、紅把洞、玉川洞、松月洞、橋南洞、平洞、冷洞、竹添町一二三丁目、唐珠洞、都染洞、堂山洞、西大門一二丁目、弼雲洞、社稷洞、內資洞(第二回十二月二日)▲二十七日光化門通、積善洞、昌成洞、通義洞、勝府洞、玉仁洞、楼上洞、楼下洞、通洞、清雲洞、新橋洞、宮井洞、孝子洞、瑞麟洞、鍾路通一丁目、諫洞中學洞、清洞、八判洞、昭格洞、花洞、松峴洞、壽松洞、壽進洞、公平洞、南大門通一丁目、鍾路二丁目、安國洞、寬勳洞(第二回十二月三日)▲二十八日三洞、堅志洞、貫鐵洞、仁寺洞(第二回十二月四日)▲二十九日益善洞、桂洞、齋洞、苑洞、臥龍洞、勸農洞、雲泥洞、慶雲洞、益善洞、嘉會洞、教洞、臥龍洞、授恩洞、觀水洞、敦義洞、鍾路四五六丁目、忠信洞、孝悌洞、禮智洞、仁義洞、蓮池洞、苑南洞、蓮建洞、梨花洞、東崇洞、惠化洞、崇井洞、樂園洞(第二回十二月五日)▲十二月一日長沙洞、崇仁洞、昌信洞、一二三四洞(第二回十二月六日)

歌留多界の

巨星現る

學生會成る

三專門學校の結束

我社主催の歌留多會發表と共に東洋協會醫專工專の三專門學校結束して學生會なるものを組織し堂々大會に臨むべく每日醫專道場に於て猛練習を行ひつゝあるが同會には…進勇士揃ひの事とて大會當日の決戰には眼覺しい活躍振りを見せるであらう

五千圓出せ

忠北の强盜

忠清北道老隱面…洞六百四十五番地…黄義中方に本月十八日午後十時頃棍棒を携へたる二名の强盜現はれ我々は北間島借政府より軍資金調達を命ぜられたる者なりと稱し乍ら金五千圓を提供せよ然らざれば打ち殺すべしと脅迫したれば黄は有合せの八十六圓七錢を與へたるに尙ほ一千圓を三日以內に選手の山まで持ち來れと場所を指定し退去…出の事を警察署に屆け出でなば汝は勿論派出所を燒き拂ひ殺…

逃走囚逮捕

永登浦署のお手柄

本月十三日午後七時頃西大門監獄を逃走したる京畿道加平郡々內面邑內崔縮龍(二九)は廿一日永登浦警察署の手に逮捕されし由…だ繩に就かすと

女に迷うて

主家の金千圓を費消す

元大邱府錦町二丁目石炭商三ケ尻商店に永年勤めて居た本籍福岡縣山門郡柳川町字瀨…町七十二番地當時住所不定林正樹(二二)と云ふは至極實直の勤勉振にて夜間は上町尙武館に柔道を學び若手連中の逸人と云はれて居た…

滿洲の俚諺

滿洲に入り込んで居る朝鮮人の數は百萬人と云ひ百五十萬と云ひ、兎に角夥しい數であつて、尙ほ續々入り込みつゝある、滿洲に水田が開くこと…は此等朝鮮人が增加するにつれて益々盛になりつゝある、これは支那人は全く水田耕作に適せず之に反して朝鮮人は水田耕作者として最も適當な人民であるのに由る、滿洲にこういふ俚諺がある、これは『不怕我夷入中國只怕魚羊奪舊家』といふのである、魚羊はいふ迄もなく朝鮮人のことである、遼東の地が朝鮮の故地であることは誰も知つて居る通りである今俚諺が事實になつて來たのだ

枕探し

…

燒爐から發火

二十六日前五時三十分頃府內貞洞三十九番地梨花學堂構內外國人教師…舍より發火したれば直ちに消防隊に急報すると共に家人が消防に從事中馳せ付けたる消防…

…八百三十四圓を費消するに至つた…

演藝風聞錄

高級婦人藥

(五大博士實驗證明)

キットきく效く

命の母

女一代の衛生 (美本一冊) 增田博士及佐藤、西…、北島、三醫學士共著 何人にも無代にて進呈 東京京橋新榮町四丁目 笹岡省三藥房 振替東京五〇五〇番 電京二二〇一番

中風病 余が家は祖父及び父と母の三人とも同病にて困難したる…

特に上場 吉岡好雄氏作・久保田君一派 新派悲劇 人の情け
悲哀にして波瀾に富む最も面白き大活劇
戰爭哀話 砲煙の影 壯烈なる戰場や悲慘なる戀を描き出した無類の逸品
トライアングル、ケービー映畫 ルイズ、グローム嬢出演
怪談 牡丹燈籠 田島記久雄氏作 天活撮影大規模撮影 何如に諸君の前に化るか近來の大映畫
料金普通 黃金館

ユートピア 一名金屬磨液
眞鍮、銅、ニッケル、鐵、金銀其他一切ノ金屬ナ磨クニ手數ヲ不要 品質ノ佳良ナルコトハ既ニ御承知ノ所デ一般ニ歡迎セラル
京城日報社代理部

何故によく賣れるか? 値段が安くて品がよい!
キッコー 醬油は

東京山本製大印インキ石油活版機械及石材 大阪海上火災保險株式會社 つちや足袋 及ろは足袋 蓬莱生命保險相互會社 京城代理店
京城本町三丁目 今藤富國太郎商店 電話二〇八 二九〇二

入院隨意 京城南山町二丁目六番地(天眞樓ヨリ西二軒角) 片山內科醫院 片山信夫 電話一九五一

胃腸藥 タカラコン
村井弦齋先生 發見のタカラコンが胃腸病に卓效あることは世間識者の確保せる所であつて之を適用すれば弛緩せる胃腸の筋を引締め其活動を旺盛にし胃液の分泌を…消化を好くし…
帝國醫科大學 數名醫學士並に同大學病院藥局に於て…
定價 散藥・錠藥 各五十錢・一圓廿錢・二圓五十錢・五圓
本舖 東京小石川 無量壽藥園 電話小石川二九五六 振替東京二〇〇二

靴を綺麗に且つ永く保存するには
みつわ・くつくりーむ
ミツワ靴クリーム
靴を穿くからは其使用能率を、極度まで發揮させて十分永く保たす工夫が肝要である。嚴密の科學的試驗に依つて、皮革の耐久保存に特效あるやうに研究精製されたミツワ靴クリームを用ひ、其使用能率を極度まで發揮するがよい。
(赤 黑 の 兩 種 あ り)
專賣特許 ミツワ靴クリーム 定價一個金參拾錢(市內は一個にても配達)
特徵
一、皮革の保存耐久に有效な成物質を配合せること
一、耐水性の完全なると、塵埃を附着する粘着性なきこと
一、少量を以て十分美しく磨かれる放經濟的なること
一、一回塗布すれば靴を常用しても三四日は同樣の色艷を保つこと
一、保存中變質の虞なき故使用し盡されること
賣捌店 靴店・洋品雜貨・化粧品店・雜貨店・洋酒食料品舖・文房具學校用品
ミツワ石鹼本舖 丸見屋商店

夜の蜘蛛　（三四）

押畫　近藤紫雲

一先づ借切の小食堂を切上げて、喫煙室に入つた水上頼之伯を初め、田部谷日立の三人は、此處でも盛んに駄辯を弄し合つた。

珈琲を運んで來た龍子の去らうと爲るのを、突如手を取つて頼之は引張つた。

『あら、痛う御座いますわ。此方、怪我して居りますのですから……』と龍子は繃帶の手を示した。

『然うだツたね。併し、手の怪我なんか何何だツて好い。心の痛手を負はなければ、此婦人は幸福なんだ。まア龍ちやん、此ト油斷が出來ないが、實は我々の意志を代表して、其方から云つて貰ふのだからね……その爲一人が好い子に成るんぢやア無いよ。我々もお前の爲に種々心配して居るんだからね』と田部谷は、どんな株でも割込んで採たなければ承知せぬ。

『は、、、』と口立は他愛も無く笑つてゐる。

頼之は益々眞面目になつて。

『實は、此三人でね、龍ちやんの爲に後援會を組織したのでね。イヤ、これは眞劍なんだよ。醉ひに乘じて戯談を云ふと思はれては困るんだよ』

頼之は醉の裡にも熱情有る言葉で説き立てた。

龍子は、それを嬉しく思はずにはゐられなかつた。唯、併し言葉に出して感謝するに拙くして、漸くその顔色に喜びを浮かべるに過ぎなかつた。

頼之は猶も説き進んで。

『斯ういふ處へ酒を飲みに來る者は、小中八九は消際の標準が狂つてゐるので。處女の貞操を尊重する事なんか全然考へてゐない……我々も然うかも知れないが……いや、不誠實の僞紳士に欺瞞されて、一生を過らない樣に心懸けなくッちやアいかんよ。其代りだね、物質上の苦しみはお前にさせない樣にするよ。お前の家の生活費は勿論、お前の服裝費や何か、我々で心配して上げるよ。然うしてお前は又お家のコックや出前持なんかに心附けを遣つたり、又朋輩達に時々茶菓子でも買つたりして遣れば、自然にお前の勢力が出來て、新米でも然うそんなに苦しまずに濟むんだよ。や、然ういふ風に後援して、恩を著せたからツてそれでお前に如何して呉れの斯うして呉れのと、厭やらしい事は云ひ出すのでは無いよ、もし云ひ出すこすれば、此人位なんだ』

頼之は田部谷の方を指示した。

『□處へ僕と一緒にお掛けよ。少し話したい事が有るんだから……』と長椅子に身を投出た儘にして掛けた頼之は、龍子の右の手を却々放さぬ。

『妾……下に用事が御在ますのですから……』と龍子は困つたらしく答へつゝ、取られた手を引戻すべく、モヂ〳〵してゐるが。

『いや、下にも用事が有るだらうが。併し我々にも大きな用事が有るんだよ。女給仕はお客樣の爲に用を辨じるのが職務なんだからね』

『ですが……妾……未だ……』

既う龍子は顔を赤くしてゐる。昨夜で懲てゐるからである。それを田部谷が見て。

『や、そんな强情を張るものでは無いよ。其方の仰有る事は、之から非常にお前の爲に成る事なんで……や、其方一人だこチ

龍子は何と答へて好いか、口を開き兼ねて、何處までも唯モヂ〳〵してゐるばかり。

『お前をだね、我々はだね、如何までも純潔なる處女と認めるんで……龍ちやんの前にゐた小糸といふのは、大變な噂はせ者で、大正毒婦傳中の一人だつたが、それに似てゐるお前は未だ浮世の波風に翻弄されない誠に綺麗な少女だと思ふのでね。それが斯ういふ處へ來てみると、何時の間にか變な空氣に同化されて、後には什樣の無い醜業女になつて了ふのだ。それをお前にはさせたくないと思ふのでね。出來るだけ我々は保護したいと考へてゐるのだよ』と

新龍山三角地西へ入る
新龍山齒科醫院
東京齒科醫學士　廣瀨文質

（診察夜九時迄）
皮徽科　皮膚病　徽毒病
京城明治町二丁目（入院隨意）
佐藤醫院　電話一登七參

□□白菊會詠草□□

十六日午後一時より少女短歌會を小龍居に開催するもの七名題を探りて得たる中より

飾石も並木も屋根も流き濡れぬ我ばかりかは霧の夜の町　　いに子

飛山河隔てゝ遠し行き行かば母が門田に鳴き落ちよ雁　　千鶴

草山の夕雲眠る風さに騎兵斥候あらはれけり　　ゆき子

秋晴の丘に上りて海見れば何かかなしき物思ひ湧く　　すみ江

芝居より歸る俥の上に見つ雲間に似し春の夜の月　　ふみ

師の君の在す斗りに冬枯の龍山をさへ懷かしみ行く　　榮子

新刊紹介

▼食物と疾病（五の一一）食鹽主論（石塚左玄）黒焼の効能（小久保榮學博士）ビール飲用の可否その他食養法による實驗の効果等（十五錢、東京牛込市ケ谷町五一石塚食療所）

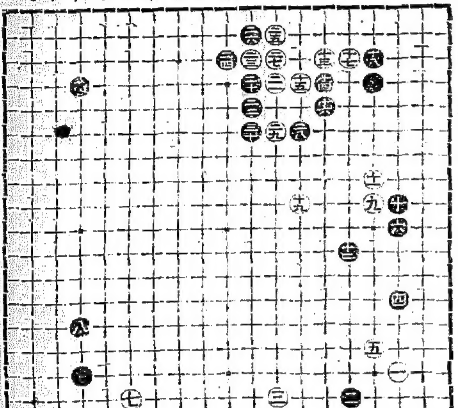
▼人間（創刊特別號）有島生馬、久米正雄、久保田萬太郎、里見淳氏の小説の外戯曲（吉井勇）學者は人間である（渡邊法學博士）組閣に與ふ（桝本卯平）支那問題、勞働問題に對する諸家の新意見（十四氏）古事記及日本書紀の新研究（山純氏）其他（六十錢、東京麹町區内幸町一丁目六人間編輯部）

人參王
京城本町壹・電話一四八〇番　一八七〇番
㋡津村兄弟商會

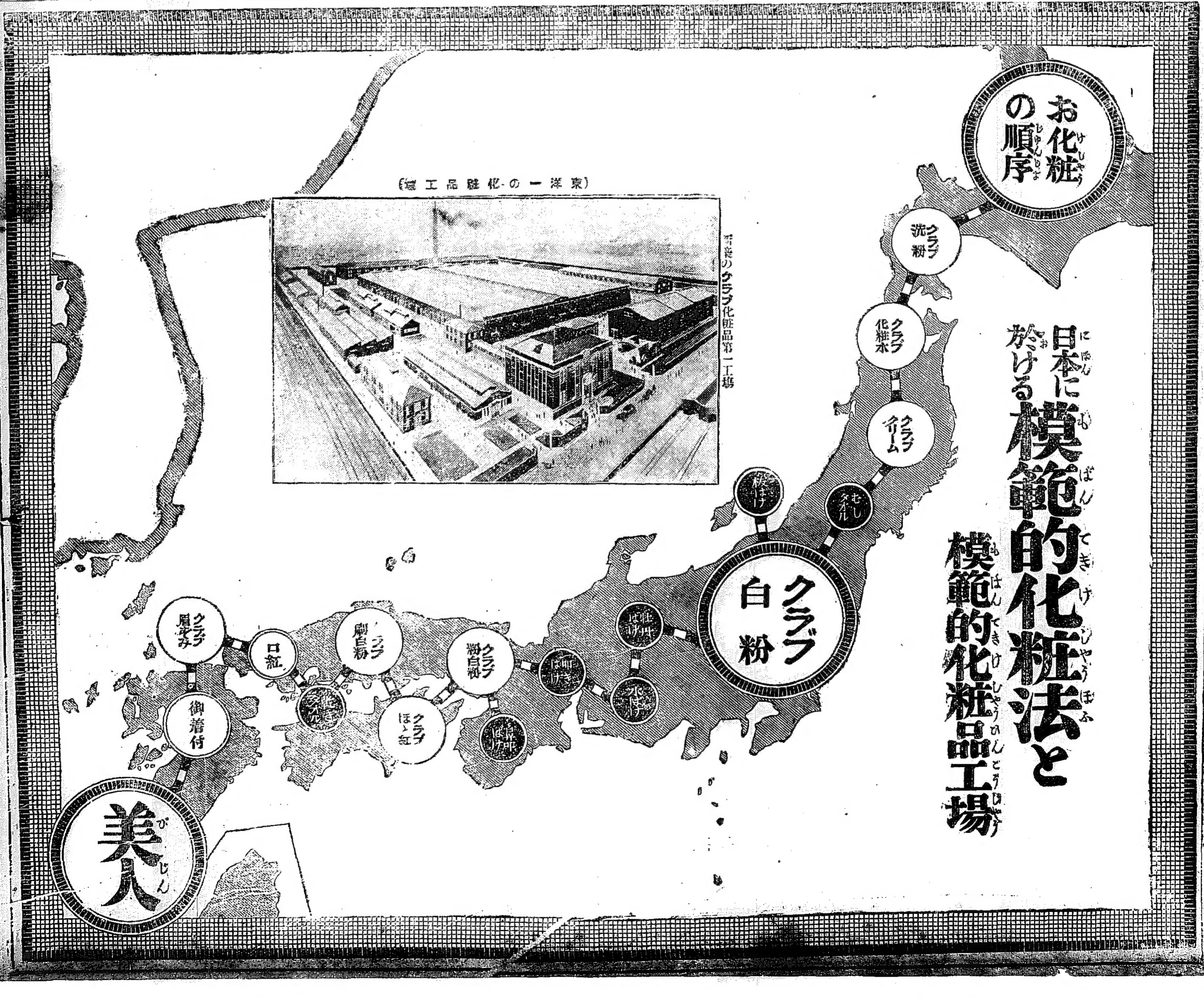
圍碁新局（二）

（十一月中旬於本社主催圍碁大會）
五段　瀨越憲作氏
三子　佐藤伊藏氏

●一六	八五
○一七	ほ三
●一八	に三
○一九	さ九
●二〇	り四
○二一	ち四
●二二	り五
○二三	り三
●二四	ぬ三
○二五	ち二
●二六	り二
○二七	ち三
●二八	さ六
○二九	ち六
●三〇	り六



請合薬　りんびやう　りん病薬
◎淋病薬は淋病を治療する主薬にして……
醫科大學帝國大學院……
分析料　百圓進呈
◎あらゆる治療をすむも効なき患者は一度來談あれ
にせ物あり　有田の製薬を買取あれ
京城南大門外停車場通　有田ドラッグ滿鮮本部
京城黄金町三丁目電車通　有田ドラッグ（長電話二八三番）
龍山練兵場前　釜山大廳町二丁目　元山本町三丁目　平壤道廳正門斜向　仁川宮町二丁目　大邱弓町停車場前　鎭南浦警察署前　開城南本町一九　晋州大安洞榮町　大連岩代町
（全國の都市に支店あり）
東京日本橋通四　大阪心齋橋筋本町
有田ドラッグ
壁になると　にせが出來るヨ



連絡船上陸客